

減らそう 食品ロスごみ

日常生活で発生する食品ロスやごみ。市内家庭から出るごみの量は、令和2年度で1人1日当たり673gで、ここ数年間は増加傾向にあります。

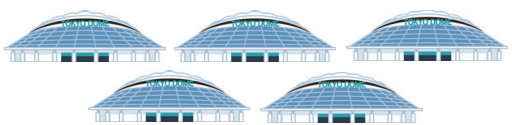
家で過ごす時間も増えた昨今。暮らし方とともに、食品ロスやごみの排出を見直してみませんか？

資源循環推進課 ☎ 2998-9146

食品ロス

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。日本では年間約600万トン（平成30年度推計）の食品ロスが発生しています。

1年間の食品ロスは、約**600万**トン
＝東京ドーム約**5**杯分



国民1人当たり
毎日茶碗**1**杯分の食品を廃棄



すぐ食べるなら てまえどり 手前を選ぶ

買い物で食品を選ぶ時、少しでも賞味期限が長いものを奥から取ろうとしていませんか？手前に残された食品は、賞味期限が切れると廃棄されてしまいます。

すぐに食べるものであれば手前のものを選ぶことで、食品ロスの削減になります。最近では、「てまえどり」を呼びかける目印がコンビニの陳列棚に表示されていることも。意識して取り組んでみましょう。

10月は家庭の食品ロス削減月間

食品ロスを減らす3アクション

買う・料理する・食べるという3つの段階で心掛けたいアクション（行動）を紹介します。

— 買う —



使い切れる量を買う

— 料理 —



傷みやすい食材は早めに使い切る

— 食べる —



食べ切れる量をお皿に盛る

古着・古布

10・11月に開催予定だった、古着・古布などを頒布する秋季もったいない市は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

まだ使える古着・古布は月1回の収

集日に出すことで、リサイクルできます。収集後は、マレーシア、韓国、フィリピン、インドなどの海外に輸出されて中古衣料として再利用されたり、繊維状にして新たな製品に生まれ変わります。



令和2年度に市で収集した古着・古布は551トンで、100%資源化されました

ごみを減らす・資源を再利用する取り組みにチャレンジ！

ごみ減量アイデアを募集！

誰もが家庭で気軽に取り組めるごみ減量アイデア（自作で未発表のもの）を募集します。優れたアイデアは表彰します。
申請月初～11月30日(木)に応募用紙を資源循環推進課に提出／☎ 2998-9146
 ◎応募用紙は市HP（Qごみ減量）で入手できます。

暮らしの中から
エコ意識を！



容器包装の脱プラを始める事業者への補助

使い捨てプラスチックの削減のため、環境にやさしいテイクアウト・出前容器や食品包装などに移行するための費用を、予算の範囲内で補助します。
対象市内で外食産業や食品小売業を営む事業者

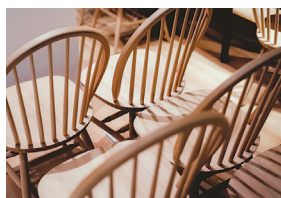
補助限度額 10万円
申請月初～令和4年3月31日(木)に申請書と必要書類を資源循環推進課に提出／☎ 2998-9146

◎詳細は市HP（Q容器包装）をご覧ください。



リサイクルふれあい館エコロの行事

◆大型家具抽選会
日10月1日(金)・15日(金)午前11時～
申請当日午前10時30分までに同館に直接／☎ 2994-5374



生ごみ処理機を購入される方に奨励金を支給

令和3年5月で受付を終了した同奨励金が再開！生ごみ処理機を購入しごみの減量に取り組む方に、予算の範囲内で奨励金を支給します。
対象市内在住で市税の滞納がない方

奨励金限度額 2万円
申請月初から申請書をリサイクルふれあい館に提出／☎ 2994-5374

◎詳細は市HP（Q生ごみ）をご覧ください。

